



全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F
編集:全難聴事務局
電話:03(3225)5600
FAX:03(3354)0046
URL:<http://www.zennancho.or.jp>
E-Mail:zennancho@zennancho.or.jp

↑ 【7・4緊急学習会】

聴覚障害者制度改革推進対策中央本部主催の緊急学習会が、7月4日、渋谷の地域交流センターで開催されました。

障害者総合支援法、来年4月施行の差別解消法と障害者の合理的配慮に関わる法案の整備に向けて大きく動いている今、国の取り組みを把握し、当事者の権利を要求するための学習会です。全難聴から新谷理事長、佐野事務局長、高木理事、小川部長をはじめ多数が参加しました。

国の動きについての報告がなされ、続いて地域の取り組みが紹介され、中央本部としての今後の運動方針が示された後、パネルディスカッションに移りました。

ディスカッションでは、障害者が合理的配慮を使う権利、要求する権利を全国で展開していくために、「合理的配慮」と「情報・コミュニケーション法」について、中央と地域での具体的な取り組みについて話し合いが行なわれました。

新谷理事長が、パネラーとして登壇し、パワーポイントを使って「人権としてのコミュニケーション」を中心に意見を述べ、情報アクセシビリティ、意思疎通支援の充実に向けてコミュニケーション支援と環境整備について提案を行いました。



この他、全日ろう連、盲ろう者協会の当事者団体のみならず、全通研、土協会、全要研からも意見が述べられ、現状とこれからの運動課題について2時間近いディスカッションが行なわれました。

↑ 東京2020オリンピック・パラリンピックアクセシビリティ協議会

東京2020オリンピック・パラリンピック大会（東京2020大会）に向けて内閣官房と東京都、大会組織委員会の3者共催で、アクセシビリティ協議会が設置されました。

すべての人にとってアクセス可能でインクルーシブ（包括的）な大会を実現するために関係者と連携して大会のガイドラインを策定していきます。

全難聴は、昨年の 11 月よりヒアリング対象団体に指定され、上記ガイドラインのまとめ、その後 IPC（国際パラリンピック委員会）への提出に関わることになっています。

具体的には、IPC（国際パラリンピック委員会）のアクセシビリティガイドとの比較を行いながら、分野別の部会、作業部会での検討を重ねます。部会は関係施設に関する「**建築部会**」。アクセス経路に関する「**交通アクセス部会**」。そして情報発信、誘導等に関する「**コミュニケーション・サービス部会**」の3つです。

これらの「部会」の下に以下のような複数の「作業部会」が設置され、意見の集約を目指しています。

- 建築部会_____ 構造物・住設機器
- 交通アクセス部会_____ 道路輸送、鉄道輸送、航空輸送、海上輸送
- コミュニケーション・サービス部会__ 情報発信・標識、宿泊施設、接遇心のバリアフリー

全難聴の参加登録者は**新谷理事長**ですが、非常に多くの部会が開催され、それぞれに意見を述べる必要がありますので、**川井理事**、**小川情報文化部長**と連携して参加対応を行っています。参加実績は本便り 4 ページに記載しています。

7 月だけでも 8 回の作業部会が開催されています。アクセシビリティ協議会のガイドライン案には、「ビデオスクリーンにリアルタイムのオープンキャプション」「電話リレーサービス」などの記述が出されていますが、詳細は現在検討中です。

新谷理事長からは、磁気ループについての対応や、耳マークの取り扱いについても意見が出され、利用者の使用可能なシステムの把握を求めました。作業部会は今年度後半に向けて引き続き開催され、意見集約を行い、それぞれの部会に上程されます。

👉 JDF 東日本大震災障害者総合支援本部 7. 15 の報告

事務局長 佐野 昇

7 月 15 日午後 1 時より 3 時半までの予定で戸山サンライズ 2 階大会議室において JDF 東日本大震災被災障害者総合支援本部会合と NHK 文化・福祉番組部福祉班との意見交換が行われました。

全難聴からは被災地 3 県に参加を呼びかけ岩手県協会から佐々木輝夫理事長、田村長平理事のお二人とみやぎ・せんだい協会の松本千賀子理事に出席をいただきました。

前半は来年で震災発災 5 年を迎えるについて JDF みやぎ支援センター、被災地障害者支援センターふくしま、被災障害者支援いわて本部の代表や役員の方から活動報告と今後の活動等に関する発表をいただき、質疑なども司会 JDF 事務局原田潔さん、議長 JDF 幹事会議長 藤井克徳さんで進められました。

後半の NHK との意見交換では、震災後 2 ヶ月まで NHK ラジオ、テレビによる東日本大震災福祉関連放送の概略の説明をいただき、これについての質疑・要望が出されました。

3 県の被災支援センターからは、当初は停電によりテレビは視聴できなかった。ラジオからの情報、コミュニティ FM 放送からの情報が有益だったこと。

避難所では、電気が復旧してからテレビが見られるようになってからは、避難所内では音声はテレビ近くの方々に配慮して、音声情報が入らなかった。聴覚障害者では字幕の表示がなされなかったことが指摘されました。また、中央で収集した情報は被災現地の避難生活に役立つ

情報は少なかったと指摘されました。

ローカル情報の送受信については、全員から少ない、受け取れなかったと全員が問題点を指摘いただきました。

発災直後は、停電等により情報収集、情報受信で音声での受信は可能だったが、聴覚障害者では受け取ることができなかったことが指摘されました。

コミュニティFM放送局とNHKのような公共放送、民放との連携やタイアップの可能性を進めて欲しいこと。停電復旧後はNHK 地域放送局でのニュースに字幕を付与していただくよう要望をしたがいまだ実現していないことなどを指摘しました。

NHK 担当者からは、文化・福祉番組に関する要望意見はいつでも受け付けていると対応の説明がありました。

HP アクセス、要望意見は下記にお願いします。

<http://www.nhk.or.jp/heart-net/>
TEL 03-3465-6156
FAX 03-3465-8010



左より佐々木理事長、田村理事、松本理事、佐野事務局長

👉 きこえの支援センターシンポジウム開催案内（9月6日）

丸紅基金による「難聴者の社会参加を 総合的に支援するシステム構築」事業の一環として、きこえの総合支援に関する意識調査（アンケート調査）を行い、6月11日に1,105通の回答をもって終了しました。ご協力くださったみなさまに心より感謝申し上げます。

これらのデータを分析した結果について9月6日（日）に、きこえの支援センター委員会によるシンポジウムを開催し、発表します。



平成 26 年度丸紅基金助成事業 公開シンポジウム

難聴当事者が求める総合支援とは（アンケート調査結果から）
～軽・中等度難聴も含め、生活の質向上に重点を置いた支援の確立を～



日時：2015年9月6日13時より

場所：ユートリヤ（すみだ生涯学習センター）B棟4階ドーム

東京都墨田区東向島2-38-7 東武曳舟駅から徒歩5分、京成曳舟駅から徒歩5分

主催：（一社）全日本難聴者・中途失聴者団体連合会

主管：「難聴者の社会参加を総合的に支援するシステム構築」専門委員会

登壇者：全難聴より、新谷理事長、佐野事務局長、瀬谷委員長。

委員：大沼直紀筑波技術大学 元学長、氏田直子弘前医療福祉大学講師、

杉内智子医師・昭和大学耳鼻咽喉科兼任講師、濱田豊彦東京学芸大学教授
その他関係団体機関より

参加費：無料

プログラム概要：

- 聞こえの総合支援とは
- アンケート調査結果報告
- 難聴当事者が捉えている支援の現状
- 難聴当事者が求める総合支援
- 難聴当事者が求める支援センターの位置づけと課題
- 全体討論
- 総括

📌 理事及び専門部長の動き（7/1～7/31）

- 7月4日 聴覚障害者制度改革推進対策中央本部企画学習会（新谷、佐野、高木、小川）
- 7月4日 国際部会議（佐野、瀬谷）
- 7月8日 オリ・パラ「コミ・サービス部会」第1回宿泊施設作業部会（川井）
- 7月9日 第1回AD国際標準化委員会（小川）
- 7月10日 オリ・パラ「交通・アクセス部会」第1回鉄道輸送作業部会（新谷）
- 7月11日 情文センター指導者講座全難聴講師会議（宇田川、藤谷）
- 7月14日 ビデオコンテンツ字幕ガイドライン「国際標準化」委員会（新谷）
- 7月14日 オリ・パラ「交通・アクセス部会」第1回航空輸送作業部会（川井）
- 7月14日 オリ・パラ「交通・アクセス部会」第1回海上輸送作業部会（小川）
- 7月15日 JDF 東日本大震災被災障害者支援本部会合（佐野）
- 7月15日 オリ・パラ「交通・アクセス部会」第1回情報発信・標識作業部会（新谷）
- 7月18日～20日 要約筆記者指導者養成研修（東日本第1クール）（宇田川、藤谷）
- 7月21日 JDF 幹事会（新谷）
- 7月25日 丸紅基金きこえの支援センター会議（佐野、瀬谷）
- 7月28日 オリ・パラ「建築部会」第2回構造物・住設機器作業部会（小川）
- 7月28日 オリ・パラ「交通・アクセス部会」第1回道路輸送作業部会（小川）
- 7月29日 オリ・パラ「コミ・サービス部会」第1回接遇・心のバリアフリー作業部会（新谷）
- 7月31日 要約筆記者指導者研修（西日本第1クール）（宇田川、藤谷）
- 7月31日 第24回全国盲ろう者大会（佐野）

📌 事務局報告

- 7月4日 聴覚障害者制度改革推進対策中央本部企画学習会
- 7月4日 国際部会議
- 7月15日 JDF 東日本大震災被災障害者支援本部会合
- 7月25日 丸紅基金きこえの支援センター会議
- 7月30日 全難聴だより No. 86 発行

《予定》

- 8月8日 中央対策要約筆記WG
- 8月8日 全要研との定期協議会
- 8月13日～16日 事務局夏季休暇
- 8月21日 全通研全国大会
- 8月23日 丸紅基金きこえの支援センター会議
- 8月31日 ASEAN 諸国と日本の実務者会合
- 8月31日 全難聴だより No. 87 発行

